

特集Ⅰ

受け継いでいく 平和への祈り

あの日、ヒロシマの惨劇

昭和二十年八月六日午前八時十五分

アメリカ合衆国により投下された原子爆弾

爆風と熱線で多くの命を瞬時に奪った

まもなく降り始めた黒い雨

誰も放射能の雨とは知らなかった



あの日から六十二年―。
守りたい子どもたちの笑顔

あの日から六十二年が経過し、記憶は時間とともに薄れていきました。私たちは子どもたちの笑顔に囲まれ、平和を謳歌しています。しかし、現実には地球上に多くの核兵器が存在し、そう遠くない国々ではテロという名の戦争で命が失われています。

子どもたちの笑顔は

私たちが守るものではないでしょうか
その笑顔を決して

曇らせることのないように

受け継いでいく 平和への祈り

平和への祈り

8月6日(月)広島に原子爆弾が投下された午前8時15分。そして、8月9日(木)長崎に原爆が投下された午前11時2分に、原爆死没者の冥福と世界平和の実現を祈り1分間の黙祷を捧げましょう。

平和学習会

8月6日(月)～9日(木)まで平和学習会を行います。原爆の体験をされた方のお話を聴き、アニメ映画『はだしのゲン』の上映会を行います。ぜひご参加ください。

開催日時、場所は次のとおりです。

開催日時	開催場所
8月6日(月)	三和公民館
8月7日(火)	豊松支所大会議室
8月8日(水)	神石山村開発センター
8月9日(木)	油木コミュニティセンター

※時間はいずれの会場も午後7時から

問い合わせ先 企画課 ☎ 89-3332

爆発で発生したキノコ雲が上空で冷やされ、その後、広島市とその北西にかけての広範囲にわたり雨を降らせました。この雨は、爆風で舞い上がった大量の粉塵で黒くねっとりしており、核兵器による放射能に汚染されていました。燃え上る街から逃げてきた人々や、肉親の安否を確認するため駆けつけてきた人々は、この雨で黒く濡れ、その後、原爆症を発症しました。当時、これが放射能によるものはわからなかったために原因不明の病とされ、迫害を受ける人たちもいました。

戦後六十年余り経った今もなお、世代を越えてまでこの病に苦しんでいる人たちがいます。私たちにできること。この夏、平和と向き合ってみませんか。



for peace

戦争はいやだ

勝敗はどちらでもいい

早く済みさえすればいい

いわゆる正義の戦争よりも

不正義の平和の方がいい

井伏鱒二 著

「黒い雨」の一節より

(小島地区つつじが丘公園の文学碑)

文学碑

戦争はいやだ

勝敗はどちらでもいい

早く済みさえすればいい

いわゆる正義の戦争よりも

不正義の平和の方がいい

戦争はいやだ

勝敗はどちらでもいい

早く済みさえすればいい

いわゆる正義の戦争よりも

不正義の平和の方がいい